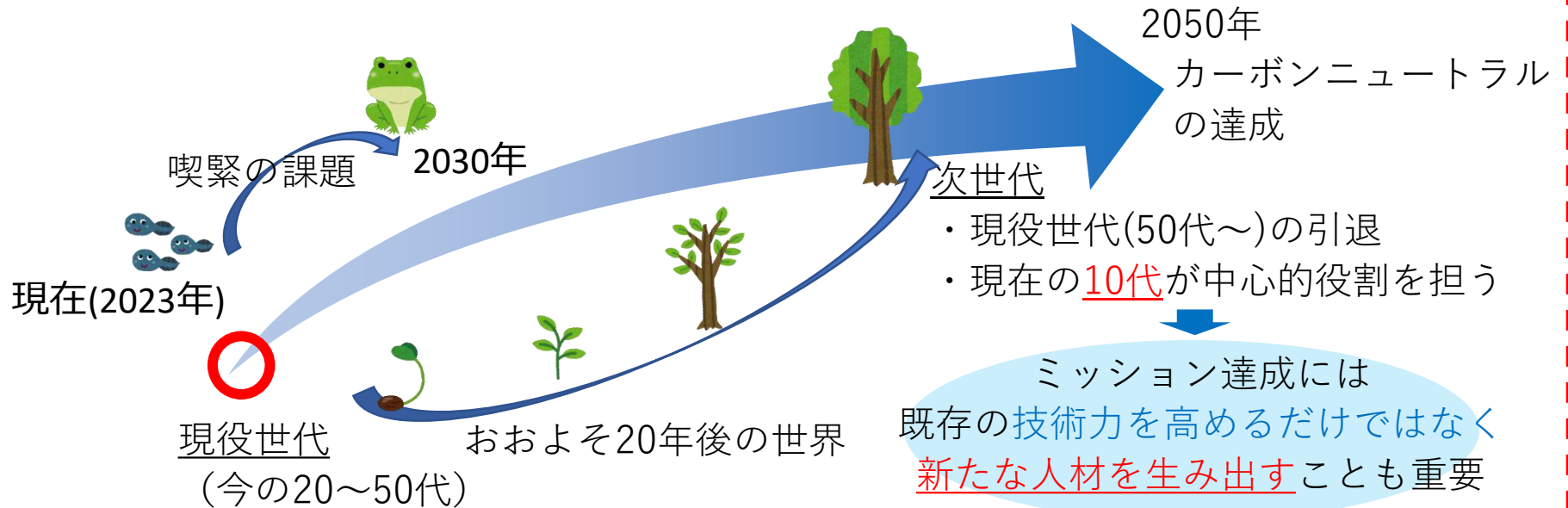


中学・高校生を対象とした環境教育 (カーボンニュートラル学習) の実施報告

2024年3月4日

中部経済連合会 価値創造本部 社会実装推進部
(エネルギー・環境委員会 事務局)

ミッション(CN)を達成する人材



課題

10代(中学生・高校生)はカーボンニュートラルの取組を知る機会が少ない
⇒ まずは世界情勢や国内の取組を広く「知ってもらう」ことが最重要

カーボンニュートラルの次世代を担う人材を創出できるよう
早急に取り組む必要がある

実施先詳細

実施日時 2024年2月13日(火) 8:50~9:40 (1限目の道徳)

実施先 **名古屋大学教育学部附属中学校** (国立大学法人、中高一貫校)
(愛知県名古屋市千種区不老町 (<https://highschl.educa.nagoya-u.ac.jp/>))

対象学年 **中学2年生全員 (80人 (40人/1クラスの2クラス編成))**



<参考> 学校の取組

- ・2006年 スーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)指定校 (2006~2020年)
- ・2010年 ユネスコスクール指定校 (2010年~)
- ・2015年 スーパー・グローバル・ハイスクール(SGH)指定校 (2015~2019年)
- ・2021年 ワールド・ワイド・ラーニング(WWL)指定校 (2021年~)

学校側のニーズ・要望

- ・「CO2はどこからどれくらい出ている」のか。また、「カーボンニュートラルとはなにか」「なぜカーボンニュートラルが必要なのか」教えて欲しい
- ・メディアでも取り上げられている「**水素**」について**興味をもっている**ことから「水素がなぜ注目されているのか」「水素導入の課題(水素を作ることにもエネルギーが必要など)」「水素は今後どのように活用されていくのか」を講義に取り入れてほしい
… 専門委員を中心に講師を打診し、**東邦ガス株式会社様に講師**を引き受けていただいた

講義内容の概要

- ・カーボンニュートラルとはなにか
- ・カーボンニュートラルと水素利用
- ・水素エネルギーのメリット・デメリット
- ・企業の取組の紹介
 - …水素サプライチェーンの構築、e-methaneとは
- ・カーボンニュートラルに向けて私たちができること

参考 参加者の反応

(学生：学校側が用意した感想文、先生：口頭聞き取り)

- ・カーボンニュートラルという言葉が今回初めて聞いた
- ・カーボンニュートラルという言葉は聞いたことがあったが、なぜ必要なのかわからなかったため、講義を聞いて理解することができた
- ・水素は無色無臭であり、取り扱いが難しいことを理解した
- ・水素にはグレー水素、ブルー水素、グリーン水素など「色」があることを知った
- ・水素の社会実装には多大な設備投資費用が発生するなど、さまざまな課題があることを知った
- ・学校で習った化学の電気分解が社会で役に立っていることを知った
- ・東邦ガスの水素の取組を理解し、カーボンニュートラルを頑張っている企業を応援したくなった
- ・カーボンニュートラルは企業だけが頑張るのではなく、私たちが省エネを心掛けることも大事
- ・水素がなぜ次世代エネルギーなのか疑問であったが、丁寧に説明いただき理解できた (社会科先生)
- ・企業の取組の時間配分が少なかったため、もっと聞きたかった (学生・先生)

評価と今後の予定

- ・学生たちの反応から、**カーボンニュートラルの必要性を理解**していただけた
- ・企業の取組にも共感していただき、**企業活動のPR**にもつながった
 - ⇒ 学校側から高い評価をいただいたことから、

2024年度についても中部圏エリアを対象に継続して環境教育を実施していく

